

InterFM897

The 241st Programming Deliberation Committee

第 241 回番組審議会 議事録

開催日 2020 年 7 月 21 日（火）

出席者：湯川れい子委員長、亀渕昭信委員、西田善太委員、安藤美冬委員、吉田拓巳委員

1、

議題（審議番組）： 「Lazy Sunday」

放送日時： 2020/7/5(日) 11:00 - 15:00

DJs： George Cockle、渡辺麻耶

会社からの説明

聴こえてくるのは、波の音と気持ちの良い音楽… 自由奔放に生きる波乗り自然派パパ、George Cockleと、イルカを愛するナチュラルウーマン、渡辺麻耶がお届けする音楽プログラム。興味のないことは一瞬で忘れるけれど、大好きな曲の情報は何年経っても覚えてる…！そんな生きる音楽辞典、George Cockleが、日曜日のお昼にぴったりなグッドミュージックをセレクト。素敵なミュージシャンや、海にまつわるゲストをお迎えすることも。大好物は音楽、海、家族、友達、そしてリスナーのあなたからのメッセージ。George&麻耶と一緒に LAZYな休日をお楽しみ下さい♪

委員からの意見・感想

審議委員 A

聞き始めは番組独特のテンションに馴染めなかったが、聞いていくうちに徐々に興味が湧き、気づいたら4時間、夢中になって聞いていた。一部DJのしゃべりに聞き取りにくい部分はあったが、毒舌なトークも面白く、最後まで苦なく楽しめた。“一見”リスナーも聞きやすい、参加しやすい雰囲気づくりがあると、もっと良くなるのではないかな。

審議委員 B

DJのジョージ・カックルと渡辺麻耶のやり取りに、冒頭から引き込まれた。終始、2人のトークが軽快でとても良かった。4時間という長尺番組だったが、料理をしたり、本を読んだりしながら、BGMのように気持ちよく聞くことができた。

審議委員 C

音楽と DJ のキャラクターが活きている番組。特に渡辺麻耶の回しの上手さ、嫌みのないしゃべりには好感を持てる。リスナーとのべたべたな関係性も、番組の味のように感じられた。内容に関しても、制作のきちんとした作り込みが感じられ良かったが、DJ が放送禁止用語ギリギリな表現を使う場面もあったので、その辺りはスタッフがしっかりとコントロールしてほしい。

審議委員 D

まさにレイジーで、ざっくばらんな雰囲気は番組コンセプトに合っていて良かったが、時々乱暴な言葉が聞こえてきたのが気になった。言葉選びには気をつけてほしい。一方で、選曲は素晴らしかった。また、ドラマ仕立ての番組ジングルや時報も良く出来ていた。DJ の渡辺麻耶の進行や語りが素晴らしい。

審議委員 E

DJ 2 人の関係性がいい。メインとアシスタントではなく、ダブル DJ というコンビの位置づけのほうが 2 人のキャラクターがより活きるように思う。ジョージ・カックルの選曲はびっくりするほど素晴らしかった。それだけに、オンエアしていた「友人の曲」というのがびっくりこず、浮いて聞こえてしまった。SDGs に関するコーナーについては、海に親しんでいる DJ の割に自分の意見がなかったのが気になった。もっと経験を踏まえて意見を言えたらよかったのではないかな。興味がある「音楽」と、興味のないものの差がわかりやすい。そういった部分を改善し、5 年・10 年と番組を続けてほしい。

—会社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向け改善を図る。

以上